

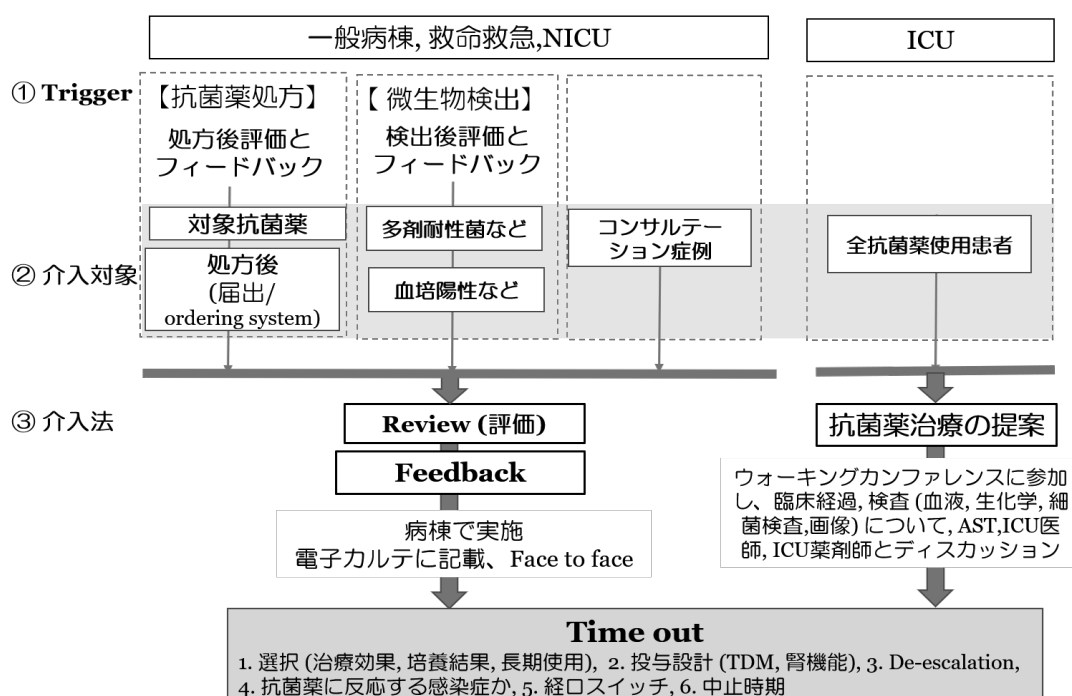
X Ⅲ 抗菌薬適正使用支援チーム (AST)



抗菌薬適正使用支援 (Antimicrobial stewardship: AS) は、病院全体の検出菌の抗菌薬感受性の改善、多剤耐性菌感染の減少、平均入院期間の短縮、個々の患者さんの感染症治療の成績の向上、抗菌薬による副作用の予防を目的としている。

具体的な活動内容として、①コンサルテーションサービス、②集中治療室 (intensive care unit, ICU) での抗菌薬適正使用支援、③新型コロナウイルス感染症患者の治療サポート、④抗菌薬処方後の適正使用評価とフィードバック、⑤微生物検出がtriggerとなる介入：a. 血液などの無菌部位からの菌検出時， b. 多剤耐性菌検出時， *C. difficile*迅速検査陽性時、⑥アンチバイオグラムの作成と院内への周知、⑦抗菌薬使用状況調査、⑧抗菌薬適正使用に関する教育、⑨抗菌薬に関する院内マニュアル作成と改定、⑩院内で使用可能な抗菌薬種類の定期的な見直し、⑪抗菌薬適正使用支援チームが存在しない医療機関からの相談への対応、などを行っている (X Ⅲ-1, X Ⅲ-2)。

X Ⅲ-1 抗菌薬適正使用支援の対象患者と介入方法



X Ⅲ-2 ASプログラムの対応患者数と延べラウンド回数 (人)

区分		2020年度	2020年度 構成比率 (%)
コンサルト対応		505	44.5
ICU (抗菌薬使用全症例)		159	14.0
新型コロナウイルス感染症患者の治療サポート		87	7.7
抗菌薬処方 介入	処方後の評価とフィードバック (TAZ/PIPC, カルバペネム)	117	10.3
	特定抗菌薬の長期使用例	44	3.9
微生物検査 による介入	無菌部位 (血液, 髄液等) からの検出に対する 速やかな抗菌薬適正使用	132	11.6
	特定耐性菌に対する抗菌薬適正使用	48	4.2
	<i>C. difficile</i> 腸炎の治療選択	43	3.8
合計		1,135	100.0
延べラウンド回数		9,988回	